

# 相生山緑地 オアシスの森くらぶ ニューズレター22号 2004.9.11発行

発行 オアシスの森くらぶ  
編集委員会  
発行人 大館 学  
編集人 近藤 真史

## 6月定例活動「トンボ池周辺エコアップ作戦」

小池 敦夫

6月26日(土)は「トンボ池エコアップ作戦」と題して、トンボ池の草刈や水草の整理などを行い、トンボを池に迎える準備を行いました。また、天白土木事務所と事前に協議した上で、トンボ池の野辺の小径を挟んだ向かい側に投棄されたゴミ(がれきやガラクタなど)の回収作業も行いました。

当日の参加者はリコー中部さんから10名の参加を得て、くらぶ員15名そしてなんとCBCのスタッフ5名の30名でした。

集合時には雨が振り出しており、どうなることやと心配しましたが、作業を進めているうちに雨もあがり、昼からは青空も見えてほっとしました。

作業は、まずトンボ池班とゴミ回収班に分かれ、先に作業を終了したトン

ボ池班がゴミ回収班に合流して、手際よく作業が進みました。

ゴミの回収に伴い、周りの竹の伐採も行ったことで、見違えるほどきれいになり、今後ゴミの投棄がしにくい状態を作り出すこともできました。



▲テレビの取材を受けながら、ゴミ回収と竹林管理作業が着々と進められた。

ちなみに、回収されたゴミは、翌日に天白土木事務所の手配により、搬出

してもらえました。



▲回収されたゴミの山

ところで、CBCのスタッフの役割は7月22日(木)に放映されたCBCテレビ「そこ知り坂東リサーチ」の取材ということで、野並周辺を紹介する中で、我がオアシスの森くらぶの活動も大きく取り上げられました。

やはり、テレビの収録などというと、何かはりきってしまいますね。みなさん、番組は見ましたか？

## 『天白・もりのフォーラム シンポジウム』が 開催されます！

今年是天白区政30周年ということで、区と天白・もりのフォーラムが協働して記念シンポジウムを開催します。皆さん、是非ご参加下さい！

【日時】11月23日(火・祝) PM1:00受付開始  
(終了予定 PM4:30)

【場所】天白文化小劇場(地下鉄原駅ターミナルビル4F)

【主な内容】★ジョン・ギャスライト氏の基調講演  
★区内で活動している自然団体等の紹介  
★パネルディスカッションなど

## シリーズ『森の住人たち』⑨

カネタタキ カネタタキ科

体長 1.0~1.8cm内外  
環境 野山の中低木や庭木の梢で鳴く

### ～カネタタキ～ 秋の夜長の風情

(♂)



(♀)



「今、鳴いている鳥はなんですか」  
観察会の参加者が問う。五感を働かせることを心がけているが、はてさて鳥の声は耳にしていない。聞きもらったかと、耳を澄ます。「ほら、この鳴き声」といいながら、参加者が梢を指差す。聞こえてくるのは、カネタタキの声。  
「チン チン チン」「チュン チュン チュン」人によっては、鳥の鳴き声に聞こえるというから、間違えるのも無理はない。秋本番ともなると、日中から鳴く虫も多い。  
カネタタキは、その名が示すように「チン チン チン」とまるで鉦をたたいているように聞こえるのでこの名がある。鉦はカネと読み、扁平な円筒形の仏具や楽器を示す。  
ところで私たちは、夜のしじまに虫の音を

耳にすると、しみじみとした気持ちになる。この感情は私たち日本人が、虫の音を意味あるものとして左脳で聞くことによるものだという。欧米人の場合は右脳で聞くため、単なるノイズとしかとらえないようだ。この話を聞いたとき、思わずほっとした。日本人に生まれてよかった、と。  
カネタタキは毎年、8月の中・下旬から鳴き始めるが、今年は数日早かった。猛暑と関係あるのだろうか。  
これからの季節、秋の夜長にラジオやテレビのスイッチを消して、虫の音に耳を傾けてみよう。もちろん、外に出ればもっと楽しめること間違いなし！

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

## 5月定例活動「相生山緑地、森の探検」

小池 敦夫

5月22日(土)10時、トラッグミのヒーヒーという声を聞きながら5月定例会が始まりました。森林インストラクターであり、キノコ・植物何でも来いの川尻秀樹さんを講師にお招きして「相生山緑地、森の探検」を行いました。

総勢27名というメンバーで、日頃訪れていないオアシスの森の南に広がる相生山緑地(計画面積、なんとオアシスの森の6倍の123.4ha)を相変わらずの名調子の川尻節を聞きながら探検しました。



▲川尻節に聞き入る参加者たち

通りがかりに見つけた木や草を題材に、「食の視点」も加えながら説得力のある解説を聞き、感動、感心、感激の連続でした。



▲雨上がり後限定「相生山緑地の水の風景」。是非皆さんも雨上がりの日に探検してみてください！



そして、このところの雨続きの天候のせい、思わぬ所に流れを発見し、土管から流れ落ちる滝や淵の出現にいったいここはどこぞとばかり……驚くやら、感激するやら。

ぐるっと一周4時間の森の探検でした。日頃の活動の場であるオアシスの森とはまた少し違った森の魅力を満喫した1日でした。とにかく広い。疲れた。ビールがうまい。

## 7月定例活動「森の調査」

伊藤 晶子

連日の猛暑の中の調査でしたが、森はすごい。外部と比べるとかなり涼しく、目に映る緑の清々しさも加わって耐えられる範囲でした。

集いの広場及びその周辺A、B、C地区の8年前の写真とデータを基に調査開始。・・・しかし、はじめは木の特定に手間取りました。原因は、参加者それぞれの方向感覚が違っていたことでした。磁石で確認して、各自の思い込みのいい加減さに大爆笑！

一本ずつ高さ、幹周り、枝幅と測っていきました。何も語らない木々ですが、8年という長い年月の間にドラマを繰り広げていました。8年前、調査の前の整備で光をうまく捕らえるチャンスを得た木々はグングンとのびています。最高はA地区のコナラで、高さで6m、幹周りで70cm、枝幅で10mも大きくなっていました。ほかの木に先を越され、かるうじて生きては

いるが、ほとんど伸びず、胴吹きが始まっている木々もあります。光を捕らえきれずに枯死して消滅してしまう木もありました。

里山管理で光条件を考慮することの大切さを見せつけられました。



▲集いの広場での計測作業



▲シンボルツリーを計測中

参考に、シンボルツリーのコナラも測りました。高さ15m、幹周り2.8m、枝幅14.5mで、「本数密度が高いほど直径は小さく、本数密度が小さいほど木の直径は大きい」ことを見事に具現しています。

今後も定期的に調査していくことになりましたので、次回は皆さんも参加して下さい。おもしろいですよ！

## 8月定例活動「巣箱づくり」

永田 修二

8月28日、山根コミセンで定例会を行いました。今回は野浪さんの指導による「巣箱づくり」です。

当日は、小泉産業の社員とご家族10組ほどの参加もあり、部屋が狭く感じられるほど大変な盛況ぶりでした。



▲野浪さん指導のもと着々と巣箱が組み上がる

さすが、我がくらぶでの「もの作りナンバーワン」野浪さん、準備は万全。材料は正確に切りそろえられ下穴まで空けてあります。（まるで市販の巣箱キットのよう！）見本を見ながら順序

良くネジを使って組み立てていきます。こどもやお母さんたちには、野浪さんの懇切丁寧な指導も手伝い、午前中で20個もの立派な巣箱ができあがりました。また、できあがった巣箱の背面には、各々サインを書き込んで、製作した人たちが一層愛着の持てるものになりました。



▲各々が作製した巣箱を持って記念撮影

コミセンで昼食をすませた後、午後は森に行き、ウッドデッキ辺りで、こどもたちが巣箱の端材で工作をしたり、小泉産業の方たちとくらぶのメンバー

が親睦を深め、また森の中を散策したりと、思い思いにひとときを過ごしました。



### 特別活動のご案内 『巣箱点検と巣箱かけ』

今回作った巣箱は、野浪さんが持ち帰り、防腐剤を塗布してもらって11月の特別活動で取り付けます。

巣箱を作った人も、そうでない人も巣箱の取り付け作業に、是非足を運んでください。

【日時】11月14日(日)

AM9:00~

【集合場所】集いの広場

【講師】古澤さん

(日本野鳥の会愛知県支部会員)

## “こどもエコカレッジ” 支援活動

真弓 浩二

5月30日のエコバンクあいち主催のこどもエコクラブのイベントには、中島さん、伊藤さん両夫妻、近藤真史さん(親子)、私と6名のメンバーの他「荒池ふるさとクラブ」の方々も応援に来ていただき、50名を超える参加者の皆さん達と楽しい1日を過ごしました。

午前中はまず、相生口の竹林で竹伐りから始まりました。参加した親子らのなかには竹を切るのが初めての人も多く、悪戦苦闘しながらもみんな楽しそうでした。



▲数名のグループに分かれて竹切りに挑戦



▲食器に使う竹は枝を丁寧に切り払う

切った竹を集いの広場まで運び、その竹で食器などを作った後、お昼には竹卵焼き、豚汁、竹パンを味わいました。



▲竹工作に夢中のこどもたち

午後は伊藤(百)さんの水鉄砲作り、中島さんの野菜でっぼうづくりにこどもたちが群がりました。

また、伊藤(晶)さん、中島(ひ)さんがこどもたちをつれて、森の中を探検、みなさん夏のオアシスの森を十二分に満喫してもらえました。



▲みんな、竹パンは上手に焼けたかな？

プロパンガスが途中で切れて、竹炭が大活躍、卵焼きも竹パンもおいしくできました。

炭焼に汗を流していただいた皆さんありがとうございました。

最近よく地球温暖化という言葉を目にします。今年の夏も暑かったですね。

さて温暖化の原因は二酸化炭素の増大とされていますが、炭を焼いても二酸化炭素が出ますから、炭焼きも地球温暖化の原因になるのでしょうか。

答えはノーです。植物は生育する時に大気中の二酸化炭素を固定します。炭を燃やした時には、逆に固定化した二酸化炭素を放出するので差し引き零という訳です。

二酸化炭素の増大は化石燃料の燃やしすぎによるものです。私たちの営みは太陽エネルギーによりもたらされますが、これをサラリーマンに例えれば今降り注ぐ太陽エネルギーが月給、石油や石炭などの化石燃料が先祖の遺産ということになります。

私たちは持続可能な社会を標榜していますが、石油の無い暮らしが持続可能な社会の基礎となります。月給だけの生活がいかに大変であるか想像できます。

もっとも僅か150年前に私たちの先祖はそんな暮らしをしていたのですから

出来ないことはないと思います。(最も江戸時代末期は木の切り過ぎが社会問題化し、明治時代になって植林に力をいれました。今で言えばサラ金から借金した様ですね)

自分自身不思議に思うのですが、手入れされた雑木林(二次林)を見ると気持ちよく感じます。私たちの先祖は森を手入れして、その恵を無駄なく利用してきました。長く森とつき合いながらも、それが自然の理にかなったものであったからこそ、里山の原風景が自分自身の心に刷り込まれているように思います。

炭焼きはそんな昔の暮らしのなかにしっかり根付いたものであったと思います。現代の私たちにとっては炭焼きを今の暮らしを見つめ直すきっかけにすれば良いと思います。

今の地球環境は私たち人類の生存には不可欠ですが、地球の歴史を振り返ると過去には大気中の二酸化炭素濃度が現在よりはるかに高い時代もありました。

二酸化炭素の量が多少増えても地球には痛くも痒くもなく、人類が退場するだ

けのことであるなら、「地球にやさしい」が如何に的外れなものかが解ります。

今の地球環境を守り、私たちの次の世代が安心して暮らせるようにすることが大切です。急に暮らしを変えることは出来ませんが、化石燃料を節約して太陽の恵みを生かす暮らしぶり、今流行りの言葉でいうスローライフを実践してみませんか。

今回はテーマを設けず、思いついたままを書きたいと思います。

## ホームページ管理・作成 スタッフ 大募集!!

“森くらのホームページをもっと楽しくしたい!” “定例活動には出られないけど、自宅のできるのなら手伝えたい” 等々、ホームページに興味のある方、是非ご一報を!!

【連絡先】

masashi\_k@muf.biglobe.ne.jp (近藤)

## 定例活動スケジュール

集いの広場  
10時集合

### 9月25日(土) 森の小径づくり(尾根越えルート)

数年前、くらのみんなで作った小径(尾根越えルート)は双子池口駐車場から炭焼き小屋をショートカットで結ぶ、大変便利なルートですが、至るところで老朽化しています。その復活をめざして改修作業を行います。

### 10月23日(土) 第6回どんぐり祭り(共催:天白土木事務所)

恒例イベントとなっているどんぐり祭り。今回は初めて天白土木事務所と共催で行い、「天白・森のフォーラム シンポジウム」のイベントとしても位置づけられています。

・・・で、内容はどう変わるの? それは今後のお楽しみ!(決まり次第、チラシなどでお知らせします)

### 11月27日(土) 竹林管理

竹林を適正な密度に保つことは、竹が森を侵食するのを抑えて多様性のある森づくりに欠かせません。名古屋の嵯峨野と言われる風景をめざして、楽しみながら作業しましょう!

### 12月25日(土) 正月準備(門松づくり・梅の剪定)

一年の最後を飾る恒例行事。家のことも忙しい時期ですが、一年間楽しませてもらった森に感謝の意を込めて、是非参加して下さい。

## 2005年

### 1月29日(土) ツツジの園づくり植生管理

### 2月26日(土) アカマツ林再生プロジェクト

### 3月26日(土) 第7回萌え木祭り

## 会員募集中!

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先(郵便局)

オアシスの森くらぶ 00860-7-33725  
連絡は事務局までどうぞ

## 森くらの 情報センター

■参加申込みやお問合せなど

事務局  
伊藤百寿人 052-895-8523  
中島己治男 052-803-9534

■ニュースレターをメールで配信

申込先  
e-mail:isoiso@eva.hi-ho.ne.jp  
e-mail:masashi\_k@muf.biglobe.ne.jp

■ホームページをご覧下さい

URL address (仮):  
<http://f44.aacafe.ne.jp/~oasis/index.html>